

Chapter 1

ハンス・ウェグナーとは何者か？ Who's Hans J. Wegner?

ハンス・ウェグナーは、20世紀を代表する家具デザイナーとして不動の地位を獲得しているのは誰もが認めることであろう。しかし彼の足跡を振り返ると、ウェグナーが様々な立場と役割を担いながら、そのスタイルを確立していったことがうかがえる。国内外の先人たちのデザインに学び続ける真摯なデザイナー、優れた家具マイスター、教育者、ライフスタイルの提案者…。ウェグナーが彼の人生において経験し醸成された様々な「顔」は、時代ごとに移ろうものもあれば一筋に貫かれたものもある。それらは彼のデザインに収れんされ、結果として多様な魅力をたたえた数々の名作椅子を生み出すこととなった。

本章では椅子の製作を始めた1930年代から事務所独立に至る40年代の作品を紹介しながら、ウェグナーが持つ多様な活動の側面を紐解き、デザイナーとしての長く豊かな歩みを振り返る。18歳の時に家具マイスター資格を取得した後、ウェグナーはフレミング・ラッセン、アルネ・ヤコブセン、ボーエ・モーエンセンなど優れたデザイナーたちとの出会いを果たし、デザイナーとしてのキャリアの下地を形成した。